

ふくい水産振興センターの設立について

新しい産業の創出と地域の活性化を推進するため、「ふくい水産振興センター」を設立し、産・学・官が一体となって学術研究、産業支援、人材育成を総合的に実施

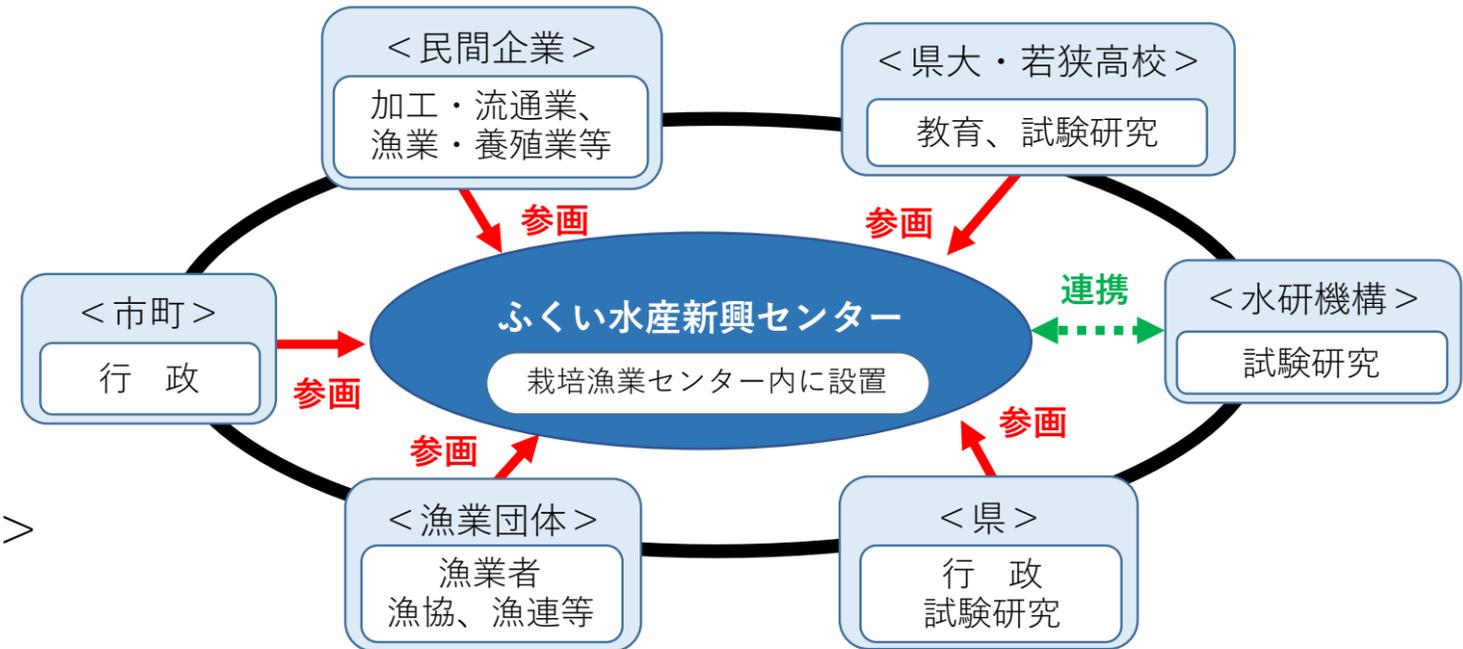
ふくい水産振興センター 概要

設立 令和元年8月1日

場所 福井県栽培漁業センター内
(小浜市堅海50-1)

会員 県、県立大学、若狭高校、沿海11市町、沿海14漁協、
県漁連、県信漁連、日本漁船保険組合、漁業共済組合、
民間企業（共同研究への参画企業等） <計33団体>

業務



(1) 産業の振興・創出につながる共同研究を産学官連携により強力に推進 (学術研究)

- 水産試験場、県立大学、水研機構等の研究機関が参画した「試験研究調整会議」により共同研究の企画立案
- 研究テーマごとの共同研究体（コンソーシアム）による共同研究を実施・サポート

- ①最先端の技術を使った養殖方法の開発・実証
- ②新しい技術の導入による養殖生産量の拡大
- ③需要の高い新しい魚種の養殖技術の開発
- ④種苗の放流や藻場の造成による浅海資源の増大



(3) 産業を支える人材を育成・輩出 (人材育成)

- 人材育成（セミナー、実習等）の企画・開催

- ①即戦力専門人材を育成
- ②民間企業の技術者レベルアップを支援



(2) 産業現場への技術普及・移転等 (産業支援)

- ①コーディネーターを活用した技術支援と普及
 - 県内外の民間企業、大学等からの情報収集、技術導入のサポート
 - 市町、民間企業等との連携調整（民間企業との協業化等）
- ②放流・養殖用種苗の調達・供給
 - 地域ニーズに対応した種苗を一括調達・供給
 - 放流・養殖の技術支援（飼育・放流の指導助言、魚病対策等）



産業の拡大・創出